

事務連絡  
令和3年2月9日

東北大学 御中

公益財団法人原子力安全研究協会

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 FS審査委員会評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後FS審査委員会評価結果を、以下のとおり通知いたします。

課題名	大型実験施設群を活用した実践的・持続的連携原子力教育カリキュラムの構築
実施機関	東北大学
代表者	松山 成男

【評価結果】

A	継続は妥当である
---	----------

※)A : 継続は妥当である。

B : 一部の内容について継続は妥当である。または、改善の上での継続が妥当である。

C : 継続すべきでない。

【FS審査委員会所見】

- 今年度は新規実習テーマの立案と準備、既存実習テーマの高度化についての検討にとどまったが、これまでの実績をもとにした事業が着実に実施される計画となっている。
- 原子力に触れる機会の提供として高等専門学校生に対して短期集中型の教育を実施することは効果があると思われる。一方、社会人目前である大学院生に対しては、短期的な高度教育による各教育の社会的意義の理解促進や、教育効果が最大限出るような実施内容等について、検討することが必要と考える。
- 他大学からの学生受け入れにも意欲を示しており、有効な教育実現が期待できる。
- 我が国全体として原子力人材育成の基盤の底上げを図っていくことが重要であり、コンソーシアム内の各機関の連絡・調整を十分にいき、PD・POの指導下で事業を進めていくこと。

以上